



第44回全国豊かな海づくり大会 三重県実行委員会 臨時総会 説明要旨

◆ 開催趣旨

大会1年前イベントの開催など、令和6年度事業を円滑に進めるため、令和6年度事業計画及び収支予算(案)について、ご審議いただきます。

◆以下、第1号議案について説明

【 第1号議案 令和6年度事業計画及び収支予算(案)について】

▶資料1 令和6年度事業計画及び収支予算(案)について

【概要】

令和6年度事業計画(案)

1 実行委員会等運営事業(審議事項(予定)は資料1のとおり)

大会の開催に向け、大会基本計画や大会実施計画等の審議を行うため、実行委員会総会を開催するとともに、具体的な検討を行うため、幹事会及び専門部会を開催する。

- (1) 実行委員会総会 開催回数2回
 - ・令和6年7月
 - ・令和7年3月頃
- (2) 幹事会 開催回数2～3回程度
- (3) 専門部会 必要に応じて開催

2 企画運営・広報事業

(1) 大会実施計画等の作成

大会実施計画、招待者の宿泊・輸送等に関する計画の検討及び作成。

(2) 式典上映映像の制作

式典時に上映する映像の撮影対象の選定・現地取材・撮影及び編集を実施。

(3) 各種コンクール及び大会公式弁当の企画・検討

ア. 作文・絵画・習字コンクールの開催準備

大会開催年度に県内の児童・生徒を対象に実施する各種コンクールの準備。

イ. 大会公式弁当の献立(メニュー)検討・試作

大会会場において、招待者へ提供する公式弁当について、献立の検討と試作。

(4) 1年前イベント・関連イベント等の気運醸成に向けた取組

ア.『第44回全国豊かな海づくり大会～美し国みえ大会～』1年前イベント

大会本番に向けた課題把握と対策を講じるため、漁船等のパレード等を実施するとともに、多くの県民が楽しめる関連行事を開催。

イ. 大会記念リレー放流

県内各地において、稚魚の放流とともに子ども達が楽しく学べる水産教室等を実施。

ウ. 各種イベント等と連携した大会PR活動

海の豊かさや自然を守ることの大切さをPRするキャラバンを実施。

エ. 魚食普及活動

学校給食や料理教室などを通じて、水産物の消費拡大や水産資源の保護の重要性の浸透を図る。

オ. 美し国みえフォトコンテスト

三重の漁村やそこで働く人々、多彩な水産物など豊かな海を連想させるフォトコンテストを実施するとともに、応募作品を大会PRに活用。

カ. 海づくり大会協賛行事の募集

基本理念に賛同していただける企業等から協賛金(物品を含む)を募集するとともに、イベントや海浜清掃、水産物消費拡大などの活動を協賛行事として募集。

(5)情報発信の取組

ア. 大会テーマ、大会マスコット等を活用したPR

大会テーマの周知や大会マスコットキャラクター(とこまる)を活用したノベルティグッズ等の作成・配布によるPRの実施。

イ. 大会専用ホームページの作成

大会に関する情報を県内外へ効果的に発信するため大会専用ホームページを作成。

ウ. 印刷物による広報

大会公式ポスター・リーフレットの作成・配布、県・市町等の広報誌の活用など、各種印刷物を活用した広報活動を展開。

エ. 多様なメディアによる広報

報道機関への情報提供やインターネットを用いた情報発信等、大会に関する情報を迅速かつ広域的に発信。

オ. 「第43回全国豊かな海づくり大会・大分大会」への参加

大分県で開催される「第43回全国豊かな海づくり大会」に参加し、大会招待者などへの次期開催の周知を図るとともに、三重県の水産業の魅力を発信。

※上記、2.企画運営・広報事業の取組は必要に応じて、企画提案コンペ等により専門的な知見を有する事業者に委託発注する。

令和6年度収支予算(案)

- ・収入の部は、県の負担金 59,350,000円及び令和5年度の繰越金 2,440,316円(見込)と合わせて、61,790,316円を予算計上。
- ・支出の部は、実行委員会運営費 1,048,000円、企画運営・広報費 59,786,316円及び事務局運営費 956,000円の合計 61,790,316円を計上。

第1号議案について、ご審議願います。

◆以下、報告事項について説明

【報告事項 第44回全国豊かな海づくり大会三重県～美し国みえ大会～大会基本計画骨子(暫定版)について】

【概要】

第44回全国豊かな海づくり大会～美し国みえ大会～ 基本計画骨子(暫定版)

大会基本計画は、各種行事の会場配置や放流する稚魚の種類、気運醸成の取組や緊急時対応を盛り込んだ計画のことで、令和5年10月に開催した第1回総会において委員の皆様にご審議をいただいた「大会基本構想」に基づき、行事の実施場所や放流する稚魚等を記載し、大会開催に向けた必要な準備や運営の考え方を整理しています。

大会基本計画は、I全体概要、II大会計画、III気運醸成・情報発信計画、IV実施スケジュールの4部構成にて記載しています。

I 全体概要は、「大会基本構想」を転記する形で作成しています。

II 大会計画は、大会の行事構成の考え方を記載しており、大会の副題でもある①「美し国」に象徴される「豊かな自然」や「多様な交流」を拠り所に発展してきた本県水産業の歴史を再認識し、共有、発信できる大会とすること。

②漁業が将来にわたって継続的に営まれるとともに、漁業者をはじめとする様々な分野の次世代を担う人材が輝いていける大会とすること。

③南北に1,000kmを超える海岸線を有する本県の特徴を生かして、多彩な食材や文化等によるおもてなしで県内外からの来場者をお迎えすること。

これらの考え方をよりどころとして、大会を企画・運営していきたいと考えています。

なお、海上歓迎・放流行事の際の「漁船等による海上パレード」及び「御放流魚種・お手渡し魚種の選定」については、資料2-2から2-4に考え方や御放流魚種の選定案をお示ししています。(漁船パレードの具体的な内容は、1年前イベントでの検証等をふまえて決定するため、基本計画には記載しません)。

III 気運醸成・情報発信計画は、大会基本方針に掲げる3の項目である(1)持続的な水産業の次世代への継承、(2)豊かな海や河川の恵みを享受するための水域環境の保全、(3)多彩な魅力あふれる「美し国みえ」の発信を達成するために必要な取組をそれぞれに記載しています。

また、情報発信の取組として、大会テーマ、大会マスコットを活用しながら、各種媒体を通じて、積極的かつ効果的な情報発信に努めてまいりたいと考えています。

IV 実施スケジュールとして、大会運営にかかる実行本部の設置や気運醸成の取組などについて、およそのスケジュールを記載しています

これらの内容について、委員の皆様の意見等をもとにさらに精査・検討を行い、令和6年7月に開催予定の第2回実行委員会総会において、ご審議をお願いしたいと考えています。

報告事項について、ご確認願います。